

企画展 広島文学資料室開室30周年記念 広島ゆかりの文学

広島文学資料室開室30周年を記念し、広島と様々なゆかりのある作家の著書や自筆資料などを展示し、ご紹介します。

また、広島在住の作家 見延典子氏を講師にお迎えし、講演会を開催します。

期間 平成29年10月7日(土)～11月29日(水)
期間中の休館日：月曜日(10月9日は開館)、
10月10日(火)、11月7日(火)、24日(金)
開館時間：火～金 9:00～19:00、土・日・祝 9:00～17:00

会場 広島市立中央図書館 2階 展示ホール

講演会

「作家が語る創作の内側」

講師 見延 典子 氏 (作家)

執筆への思いや、作品が完成に至る過程など、
創作にまつわるお話を語っていただきます。

平成29年10月21日(土) 10:00～12:00

※申込方法など、詳細は裏面をご覧ください。



広島文学資料室は、広島にゆかりの深い作家を対象に、貴重な文学関係資料を収集・保存・活用し、郷土文化の発展に寄与することを目的として、昭和62年10月、多くの方のご協力を得て中央図書館の3階に開室しました。開室から30周年を迎えた現在、21名の作家を対象に3万2千点を超える資料を所蔵しています。

本展では、この21名の作家から、現在活躍中の作家まで、広島と様々なゆかりのある作家の著書や自筆資料などを展示し、ご紹介します。



広島文学資料室の作家(21名)

- | | | |
|------------------|-----------------|-------------------|
| 鈴木三重吉(小説家・児童文学者) | 桂 芳久(小説家) | 大木惇夫(詩人) |
| 田中 純(小説家・劇作家) | 竹西寛子(小説家・文芸評論家) | 栗原貞子(詩人) |
| 細田民樹(小説家) | 梶山季之(小説家) | 峠 三吉(詩人) |
| 若杉 慧(小説家) | 大庭みな子(小説家) | 黒田三郎(詩人) |
| 大田洋子(小説家) | 岡山 巖(歌人) | 小山内薫(演出家・劇作家・小説家) |
| 原 民喜(詩人・小説家) | 正田篠枝(歌人) | 畑 耕一(小説家・評論家・劇作家) |
| 阿川弘之(小説家) | 近藤芳美(歌人) | 新藤兼人(脚本家・映画監督) |

講演会 「作家が語る創作の内側」 講師 見延 典子氏(作家)

日 時 10月21日(土) 10:00~12:00

会 場 広島市立中央図書館 3階 セミナー室

定 員 60名(先着順)

申込方法 来館、電話、FAX、ホームページの専用フォーム
(10月1日(日) 9:00から受付開始)

*手話通訳、要約筆記が必要な方は10月6日(金)までにお申し込みください。
*この講演会は、広島市高齢者いきいき活動ポイントの対象事業です。

講師プロフィール／昭和30年札幌市生まれ。広島市在住。昭和53年、早稲田大学の卒業制作として書いた『もう頬づえはつかない』を出版、翌年に映画化された。『すっぽらぼんのぼん』で頼山陽記念文化賞受賞、『頼山陽』で新田次郎文学賞受賞。その他の作品に『三人姉妹』、『竈さらえ』、『汚名』、エッセイ『頼山陽にピアス』など。平成27年、広島市政功労表彰を受ける。

関連上映 「もう頬づえはつかない」 昭和54年 あんぐる、ATG 113分 カラー 35mm 監督／東陽一 原作／見延典子 出演／桃井かおり、奥田瑛二

日 時 10月22日(日) ①10:30~ ②14:00~

会 場 映像文化ライブラリー 2階 ホール

鑑賞料 大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

主 催 広島市映像文化ライブラリー

講演会の申込み・問い合わせ

広島市立中央図書館

〒730-0011 広島市中区基町3番1号

TEL082-222-5542 fax082-222-5545

<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

